

interview

あなたとつながる大切なことば、手話

7歳のとき病気で聞こえなくなった78歳の磯野さん、生まれつき聞こえない19歳の牧野さん。世代も背景も違う2人が手話を大切に思う理由を聞きました。



手話は、人とつながる手段

「聞こえる人並みに生きられる力をつける」ため、ろう学校では口の形を読み取る口話法を厳しく訓練されました。手話を覚えたのは中学部の後半。ことばがよく見えて楽だと思いました。

私がろうあ運動に加わった昭和40年ごろ、聞こえない人も差別されず「健康で文化的な最低限度の生活」をしたいと、行政と交渉していました。口話と筆談では話がなかなか進まず、手話ができる人を探し通訳を頼むように。この流れで手話ができる人を増やす動きが広がり、昭和45年に手話奉仕員養成事業がスタート。手話サークルも多くなりました。

当時より手話がわかる人は増えましたが、今も聞こえない人は孤立しています。排除されてはいませんが、地域の人と会話ができない。アメリカのある島では、聞こえる人もみんな手話ができ、聞こえない人とは手話で話すそう。そこでは、聞こえないことが障がいではないんです。理想ですが、そんな社会になったらいいと思います。



磯野 孝さん (78)
(四條畷市身体障害者福祉会
ろうあ部会 会長)

自分の言葉＝手話で通じ合いたい

普通校への進学も選べましたが、高校までろう学校育ちです。小学部までは、音声言語習得のため補聴器をつけて発音など厳しく訓練されました。「発音が聞き取りやすい」と褒められると、違和感がありましたね。家族は手話ができるので声や補聴器を使う必要がなく、家では聞こえないことで悩むことはなかったです。高校生のときに手話の勉強が楽しくなり、自分の言葉として大切にしたいと思うようになりました。

昨年から縫製の修行をしています。社会に出たら音声言語を使う場面が多く、寂しさを感じることも。私は声で相手に伝えられますが、相手の話がわからないので、より壁を感じて。そんなとき手話言語条例を学ぶ機会が。「聞こえる人に近づくために無理やり頑張らなくていい」という考えを知り、背中を押された気がしました。自分の言葉・手話に誇りをもって生きていける力を身につけ、聞こえる人と聞こえない人が共に生きられる社会をつくりたいです。



牧野 航大さん (19)
(四條畷市身体障害者福祉会
ろうあ部会)

手話の普及にも取り組んでいます!

ミニミニ手話教室

田原小学校

ろうあ部会・手話サークルいいもりでは、市内小中学校の依頼を受け手話教室を実施。簡単な手話に加え、聴覚障がい者の状況なども学びます!



▲指文字で「あいうえお」に挑戦



▲手話に興味津々! 授業後も質問に

こども手話動画

簡単な手話を動画で楽しく紹介!



【手話を学びたいと思ったら...?】

基礎から学べる手話講習会 問合 障がい福祉課

学んでみたい、独学は心配と思った人におすすめ。手話の成り立ちや指文字などの基本を一から学ぶ初級を修了すると、手話奉仕員としてろう者の日常生活のサポートにも携わることができます。

初級【全40回】

4月～翌2月
(2月号で募集)

上級①②【各全5回】

①6～7月(15ページに募集記事掲載)
②9～10月(8月号で募集)



手話サークルで実力アップ! 問合 障がい福祉課

📍 手話サークルいいもり

社会人が参加しやすい夜間にも開催。市内のろうあ者・ろう者と一緒に活動して生の会話を学べるほか、実際に生活で困ることなど聴覚障がい者の状況も知ることができる。

日時 ①毎週水曜日 19時～21時 ②毎週金曜日 10時～12時

場所 ①市立公民館 3階視聴覚室 ②福祉コミュニティーセンター

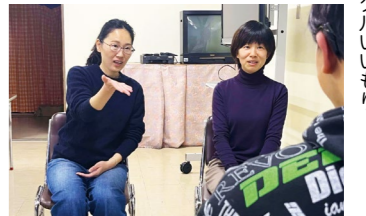


※写真とともに手話サークルいいもり

📍 手話サークルなわて

平日の日中に、和気あいあいと楽しみながら学ぶサークル。

日時 毎週水曜日 10時～12時 場所 市立公民館 3階会議室4



📖 体験談 私が手話を学んだ理由

手話ひとつで、会話できる世界が広がる

職場(飲食店)にろう者のお客さんがよく来ていて、会話ができたらと思って学び始めました。飲み物をレジで注文するとき、お客さんは口の形で伝えたり、メモを見せてくれたり。私からは最後に「ありがとう」と手話でやる以外コミュニケーションがなくて…普段無言で接客することはないので「なんだかな」と思っていました。「話したい」という感じは伝えたいけ

ど、声だと相手にはわからない。私もし聞こえなくて、どのお店でも会話がなかったら、寂しいだろうな、伝わる言語で話したいなと思って手話講習会に申し込みました。

講習会では指文字や初歩の手話を学びますが、入ってすぐに「コーヒーと紅茶の手話はどうやっていいですか?」と質問に行きました。仕事で使ったんです! 習ってすぐお客さんに「これですね」という表情で手話「コーヒー」をやってみた

ゆかな
森岡 佑奏さん (24)
(令和4年度 手話講習会初級を受講)

ら、「そうそう!」と笑顔で反応してくれて。伝わって本当に嬉しかったです。講習会の修了後にサークルにも入りました。手話で話す環境があれば学びの機会が増えるし、自由な会話はより勉強になります。

今も勉強を続けていますが、まちなかや新しい職場でろうの人がいたときに、「私が会話できません」というくらいにはなりたくない。自分にとっても聞こえない人にとっても、会話できる世界が広がるのは素敵なことだと思います。

